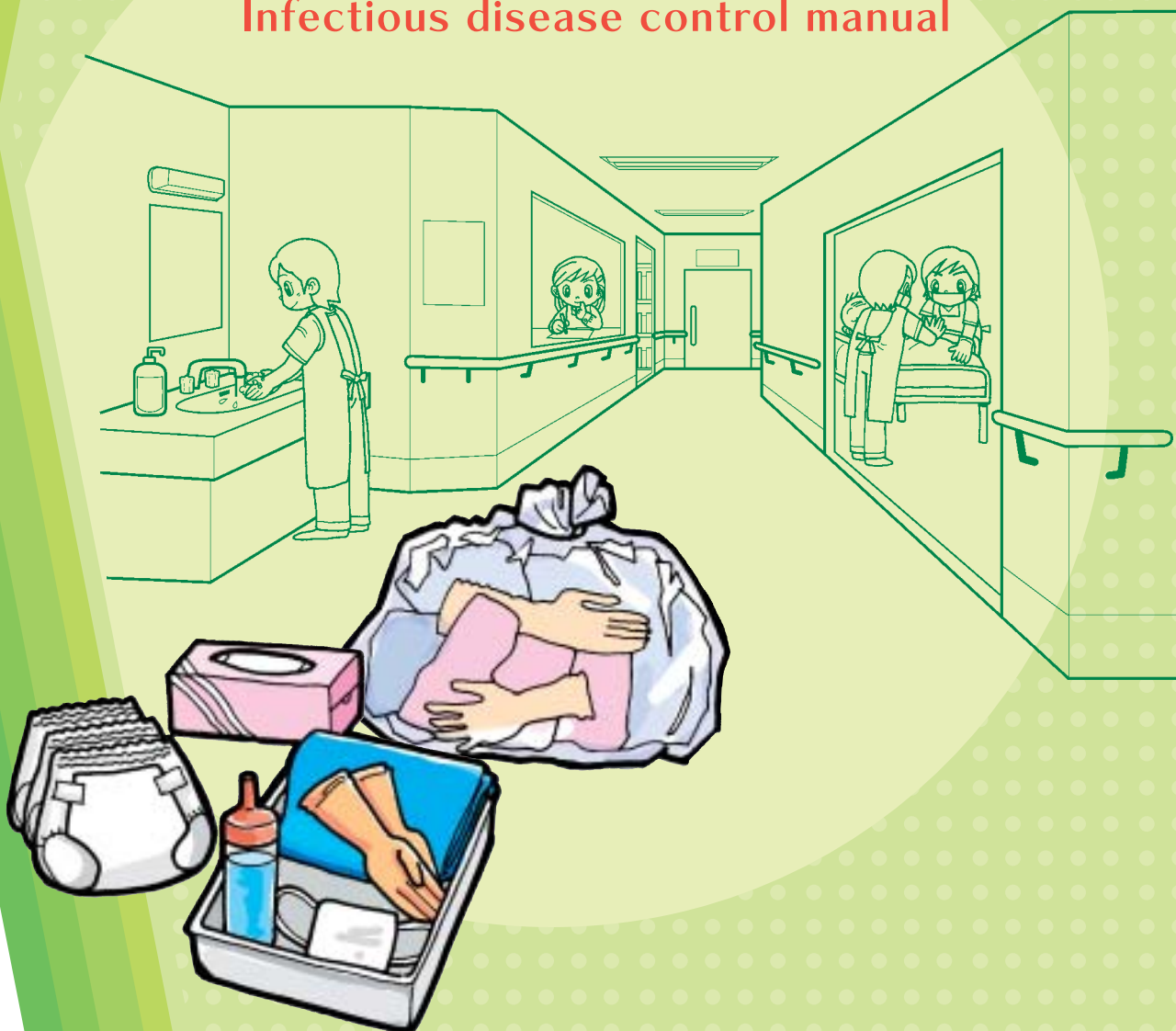


介護施設  
における

# 感染予防 マニュアル

Infectious disease control manual

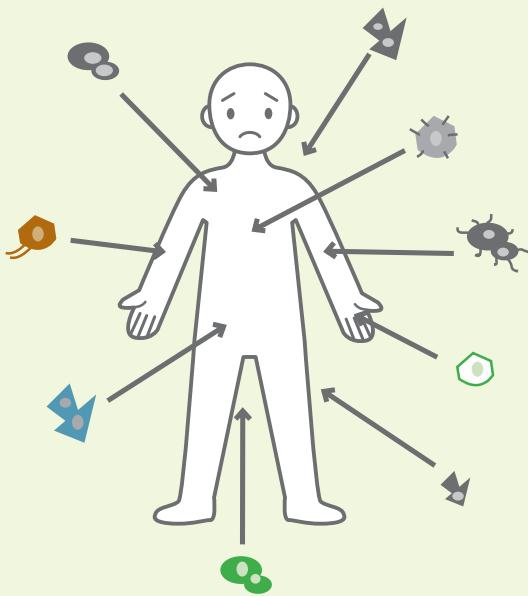


# ● What is the infectious disease?

# ●● Cause of infectious disease.

## 感染症とは・・・

微生物がヒトに、  
侵入・増殖してさまざまな  
症状を起こすことです。



## 感染症の恐ろしさ

- 目に見えない微生物が気付かないうちに伝播し、感染が広がります。
- 場合によっては肺炎や敗血症、腸炎などの病気を起こすことがあります。

## 感染症の原因となる さまざまな微生物



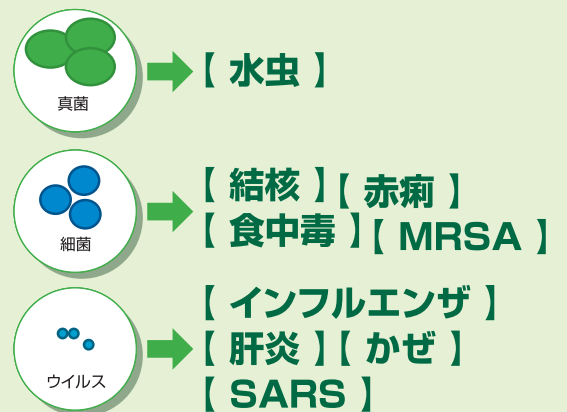
**真菌**  
**細菌**

ヒト/動物の体の中だけでなく、一般の環境の中でも長く生きていくことができる。  
【抗生物質が効く】

**ウイルス**

ヒト/動物の体の中、細胞の中だけで生きていくことができる。一般の環境の中では長く生きていくことができない。  
【抗生物質が効かない】

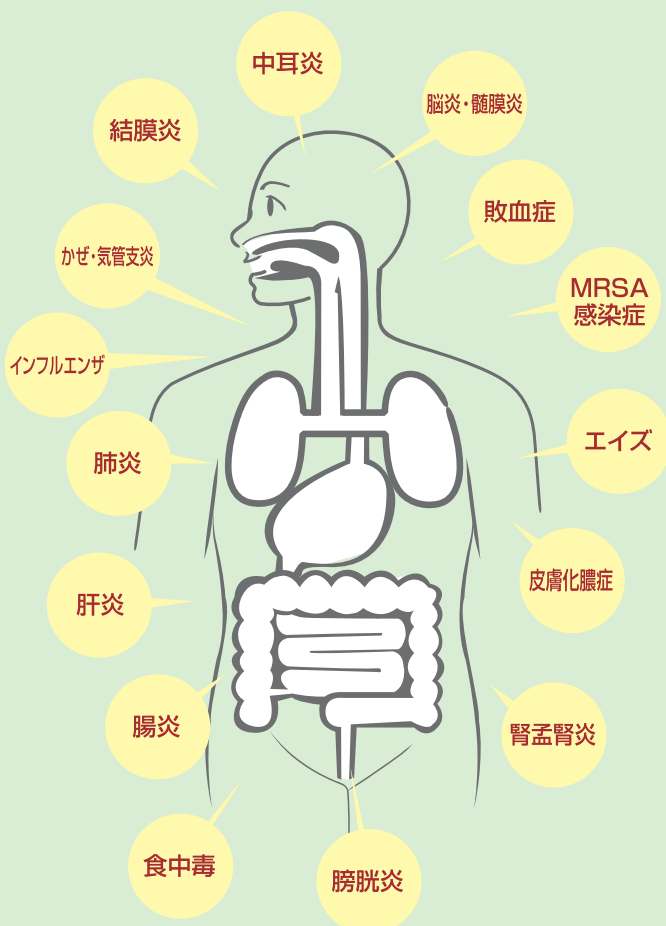
## 感染症の原因微生物の例



# ●●● Various infectious diseases.

# ●●●● Route of infectious disease?

## 微生物が起こす さまざまな感染症



このように、さまざまな微生物が体内に侵入することによって感染症を引き起こします。

## 微生物の感染経路

● 微生物は・・・

接触

飛沫

空気

などでうつっていき、それぞれに対応策が必要となります。



## 微生物の感染源となりえるもの

- 入所者の痰・便・尿・血液
- 入所者の粘膜や傷口
- おむつ
- 汚染された医療器具
- 汚染された食物
- 介護従事者の手

## 手洗いの重要性

ヒトは手を使います。手には微生物やよごれがつきやすく、手に付着した微生物が口や鼻などの粘膜から体内に入り感染症を引き起こす恐れがあります。大事なのはまず、処置や処理の後に必ず手を洗うことです。



手洗いの  
しかたに注意!

流水で洗い流す

液体状石鹸を使用

アルコール剤を使う

### 【手洗いによる微生物の減少効果】

●普通の石鹸と流水を使った場合

15秒洗浄	1/4~1/13
30秒洗浄	1/60~1/600

●速乾性アルコール消毒剤を使った場合

30秒洗浄	1/3000
1分 洗浄	1/10,000~1/30,000

※アルコールの方が消毒効果は高い。  
目に見えるような汚れがあるときは  
流水で洗う。

### アルコール剤使用時の手洗い方法

#### 乾燥するまで摩擦(もみ洗い)する

エタノールが蒸発するまで十分摩擦する。この操作により消毒剤が角質層まで浸透し、しかも消毒剤の作用温度が上昇するため消毒効果が高まる。また、エタノールは蒸発するためタオルも不要。

1 手掌を合わせすりこむ



2 手の甲に伸ばすようにすりこむ



3 指先、爪先の内側にすりこむ



4 指の間にすりこむ



5 親指と手掌をねじり洗う



6 手首にもすりこむ



# 施設内における感

しっかりとした予防策を行い、感染

手袋を外した後は  
**手洗い**を  
しっかりおこなう

ポイント

1

ポイント

2

ポイント

2

接触感染  
予防対策

飛沫感染  
予防対策



(例.耳や眼をさわる)



(例.筆記用具をかむ)



(例.ほおづえをつく)



(例.手で口や鼻を覆う)

●介護従事者は感染源あるいは感染の侵入門戸となる鼻腔・口腔・眼に手を触れることを出来る限り避ける

●介護従事者は介護現場で肩から上に手を挙げないことに努める



# 染予防のポイント

感染症の施設内伝播を防ぎましょう!

処置時は  
微生物が伝播  
する危険性大!

汚物処理室

ポイント  
3

ポイント  
4

ポイント

3

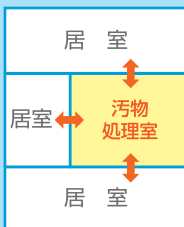
## 汚物処理室での注意

汚物処理室は感染伝播の原因となることが多いので、確実な手洗いや手袋・エプロンなどを使用する。

接触感染  
予防対策

効果的な  
感染予防策

- >>>> 消毒剤と防護具の設置
- >>>> 汚物処理室への動線の短縮
- >>>> 汚物処理室のスペースの確保



狭いスペースでも汚染と非汚染を区分する



尿回収やオムツ回収は特に注意が必要



ポイント

4

# マスク・うがい・咳エチケット

飛沫感染  
予防対策

接触感染  
予防対策

## 処置時の予防策

体液処理時、排泄物処理時などは伝播する危険性が最も高いと考え十分注意しましょう。

血液・体液や粘膜、傷口に触る時は清潔な手袋を使用する。

血液・体液の飛沫が考えられる時は、マスクやゴーグルを使用する。

ケア中に血液・体液で白衣などを汚染しそうな時はエプロンを使用する。

### 【オムツ交換マニュアル】 感染管理ベストプラクティス

準備



手指衛生

又は



②



物品準備

③



**バリア  
プリコーション**  
・プラスチック  
エプロン(袖無し)  
・マスク  
・未滅菌手袋

おむつ  
交換



**未滅菌手袋の着用**  
入所者に  
同じ手袋を使用しない  
(一ケア手袋)

おむつ交換



**便の処理**  
おむつで便を包みこむようにする  
除去後、ビニール袋に入れる

手指衛生



**飛散させない**  
陰部洗浄

⑦



手袋・エプロンを外す



汚染物の密封

終了



交換後のおむつは  
直ちに指定の  
廃棄物容器に入れる

使用後の  
おむつ廃棄



**科学的根拠に基づき  
強く推奨されているところです**

**【ベストプラクティス】  
問題解決のための優れた実践例**

## 厚生労働省東北厚生局 健康福祉部

〒980-8426

宮城県仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア21F

TEL.022-726-9260(代表) FAX.022-726-9267

URL <http://kouseikyoku.mhlw.go.jp/tohoku/>

## 東北大学病院感染管理室

〒980-8574

宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

TEL.022-717-7841 FAX.022-717-7842

E-mail [kansen-thk@umin.ac.jp](mailto:kansen-thk@umin.ac.jp)